



横浜公園で雨の中行われた植付け

## 横浜市内でコンニャク芋の植付け

横浜市役所に隣接する横浜公園内で6月20日、村の特産品であるコンニャク芋の植付けが行われました。これは、友好交流協定を結ぶ横浜市との交流事業の一



小机小学校で説明する堤村長

環として、両市村の職員10人で実施したもので、今年で5回目となります。

また同日、横浜市立小机小学校にも村長と職員が訪れ、6年生にコンニャクや昭和村を紹介する授業を行いました。小机小学校とは、昨年同校の子ども達が赤城林間学園を訪れた際に、村がコンニャク芋を贈ったことがきっかけとなり交流が始まったもの。子どもたちは熱心に説明に聞き入っていました。秋には市民の皆さんとコンニャク掘りを行う予定です。

## 玉村町の友好交流ツアーが来村

玉村町が企画し、昭和村で観光や野菜収穫体験などを行うツアーが7月1日に開催されました。

このツアーは、平成24年に村と友好交流協定を締結した玉村町が、交流をより活発にするため毎年実施しており、当日は同町の大人や子どもなど、28人が参加。参加者らは、道の駅「あぐりーむ昭和」によるレタスの収穫体験や餅つき、奥利根ワイナリーの見学や食事、桜桃園でのさくらんぼ狩りなど、村での一日を満喫

していました。また、今回初めて、村ポランテニアガイドの会事務局長の島田民夫さんによる観光案内が行われ、村のPRに一役買っていました。



奥利根ワイナリーを見学



レタスの収穫を体験する参加者

### 長寿祝い

#### 吉野正さんに慶祝状

吉野正さん（大堀）が100歳の誕生日を迎えられたことを祝い、6月11日に堤村長が吉野さんのもとを訪れました。

吉野さんは、大正7年6月10日生まれ。長寿の秘けつを「なんでもよく食べる」と話してくれた吉野さん。堤村長から「これからもどうぞお元気で長生きしてください」と慶祝状とお祝い金を手渡されると、吉野さんは「ありがとうございます」と微笑みながら話してくれました。



100歳の誕生日を迎えられた吉野正さん

## 昭和中で福祉を考える授業を開催

昭和中学校では6月26日、1年生を対象に「認知症サポーター養成講座」や、「車イスで困っている人がいたら、自分たちに何ができるかを考える授業」が行



車イスを実際に体験

われました。これは、村地域包括支援センターと村社会福祉協議会が、福祉について考えてもらうために開催したものです。まず、認知症サポーター養成講座では、認知症という病気の症状や、認知症の人との接し方などを学び、生徒たちは「認知症サポーター」に認定されました。次に、車イスについて実技を交えながら学び、自分たちの考えをグループで話し合い発表しました。全体を通して、福祉(みんなのしあわせ)について考える有意義な授業になったようです。

### 村商工会長に

高橋紹郎さん

村商工会は6月1日、通常総会において役員改選が行われ、平成21年から会長を務めた治田貞賢さん(大河原)に代わり、高橋紹郎さん(吹張)が第6代会長に就任しました。

高橋さんは就任にあたり「商工業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、経済環境は目まぐるしく変化を続けています。商工会としましては、村の活性化、農工商連携、観光振興による地域のブランド化、地域リーダーや後継者・人材の確保に力を注いでまいります」と抱負を語りました。

## 梶山地方創生担当相が村内を視察

梶山弘志<sup>かじやまひろし</sup>地方創生担当大臣が6月9日、地方創生に意欲的に取り組む現場を視察するため来村し、農園星<sup>ほしの</sup>ノ環<sup>わ</sup>(星野高章<sup>たかゆき</sup>代表)を訪問しました。これに合わせ大澤正明<sup>おおさわまこと</sup>群馬県知事も同農園を訪れ、梶山大臣と共に農園のレタス畑などを視察。その後、代表の星野高章さんや妻の美樹さん、堤村長らと農業の活性化や人材確保などについて意見交換しました。

視察を終えた梶山大臣は「農園星ノ環が、企業として人を雇用し農業経営していく大変さを感じた。全国的に就農者は

減っているが、一人の規模を大きくしていくことも大事。その担い手として、これからも頑張ってほしい」と語りました。また、大澤知事は「農園星ノ環で、外国人技能実習生のあり方や現場の実態を大臣に知っていただけて良かった。星野さんが、実習生の帰国後の生き方を心配していることに胸を打たれた。昭和村は、県内でも有数の農業地帯。県としても、若い人たちが就農できる環境づくりに引き続き取り組んでいきたい」と語り、今後への意欲を示しました。



梶山大臣に説明する星野さん(左から2人目)と梶山大臣(右から3人目)



新会長に就任した高橋紹郎さん